

# 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	交通政策課
施策	27	交通環境の構築	評価 責任者	清水 治 内線 2760
小施策	27-2	公共交通機関の利便性向上と利用促進	評価 シート 作成者	藤原 司 内線 2761

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
公共交通の利用者数は、ピークの時に比べ少ない状況にあることから、公共交通を維持・確保していくためにも、引き続き、利用促進に向けた取組を推進する必要がある。	快適で利用しやすい公共交通環境を構築し、マイカーからの転換を促進させるために、バスの走行環境・バス待ち環境の改善や利便性の向上を図るほか、鉄道の利用環境の整備を進める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
各交通手段 市民	公共交通(バス・鉄道等)の利便性が向上する。 公共交通(バス・鉄道等)を利用する。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
		単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析
指標①	1日当たりのバス・鉄道利用者数	人	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス路線の維持・確保が図られた。</li> <li>ノンステップバス導入事業費補助金では、前年度に引き続き補助申請があり、交付を行った。</li> <li>市内路線バス対象の「まちなか・おでかけバス」と、IGRいわて銀河鉄道対象の「玉山地域列車でおでかけきっぷ」により、公共交通の利用促進を図った。「まちなか・おでかけバス」は利用者が増加している。</li> <li>まちなか・おでかけバスは、令和2年度から、「一定区間乗り放題」から「利用回数に応じて負担してもらう」制度に見直した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域生活交通路線維持費補助金により、赤字バス路線について、バス事業者に対し、県と沿線市町とで協調補助することにより、路線の維持が図られた。</li> <li>高齢化などからバリアフリーのため、ノンステップバスの需要が高くなっていることや、制度の周知が図られたことによる。</li> <li>まちなか・おでかけバス事業補助金により、「まちなか・おでかけバス」事業と「玉山地域列車でおでかけきっぷ」事業を実施する各交通事業者に対し補助を行った。「まちなか・おでかけバス」の利用者増加は、バスが割安でお得なことから、70歳以上の住民のニーズを捉えているものと推察している。</li> <li>「まちなか・おでかけバス」について、平成29年度後期販売時に行った利用実態アンケート調査により、利用回数などを把握し、バス1枚あたりの価値が把握でき、バス事業者と協議を重ね制度見直しに至ったこと。</li> </ul>
当初値 (H24)	71,962	R1目標値	74,400	R6目標値	74,600
<p>※ 各年度の実績値について、R1実績値報告後、統計の「公表時点」から「調査時点」に変更している。</p>					
			問 題 点	問題の要因分析	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>広域生活交通路線維持費補助金では、令和2年度に新規で補助対象となる見込みの路線がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域生活交通路線維持費補助金では、複数の市町村にわたるバス路線全体の赤字額を、関係市町村の路線距離であん分し補助する制度となっているため、バス利用が少ない他の市町村の区間の分も、一部、当市で負わざるを得ない状況となっている。</li> <li>好摩直通線は、新規に広域生活交通路線維持費補助金を見込んで運行を維持するもの。</li> </ul>	

## 今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きバス利用促進についてPRを実施していく。</li> <li>まちなか・おでかけバス事業補助金では、市内路線バス対象の「まちなか・おでかけバス」について、制度を存続させるため、利用状況を把握しながら、見直しの必要性について検討を行っていく。</li> <li>広域生活交通路線維持費補助金については、「バス路線活性化検討会」において、需要に見合った路線の見直し等バス事業者、関係市町村及び岩手県と協議するとともに、地域公共交通網形成計画に基づき、路線バス運行の効率化を図るため、路線網の見直し・再編について検討していく。</li> <li>好摩直通線は、新規に広域生活交通路線維持費補助金を見込んで運行を維持するもの。</li> </ul>	